



人が最も痛み苦しむその時に、そっと傷に寄り添い
ただ快癒を祈る一枚のガーゼ

夏涼しく、冬温かい…
心に、傷に、寄り添い癒やすフシギな布。

「竹布」のおはなし会

日時

5月25日(土) 13:00～(1時間半程度)

場所

宮崎薬局 ホルミシスルーム内

話す方

相田 雅彦 (空飛ぶ風ガーゼ社 代表理事)



1999年より開発を始めたTAKEFU(竹布)。2001年の9月に発見された、それに備わるたくいまれなる抗菌力によりTAKEFU(竹布)の役割は決まりました。

「人が最も痛み苦しむその時に、そっと傷に寄り添い、ただ快癒を祈る一枚のガーゼ」

今、この場で未来のことを詳細に語ることは控えますが、ナファ生活研究所にとり、TAKEFU(竹布)にとり、そして、空飛ぶ竹ガーゼ社にとって、この言葉が永遠に変わらぬ道標(みちしるべ)となりました。

その姿を決して見ることは出来ないけれど、意思ある者の代行者、代弁者として、その職務を遂行するのみと私たちは考えています。良心という皆様の御手により、真に必要なとされている人々にこの竹ガーゼ「守布(まもりぬの)」をお届け、お伝えして下さいますようお願いしております。